

近運局

事故防止セミナー開く

【近畿】近畿運輸局は19日、自動車事故防止セミナーを開催。天谷直昭局長は、「昨年の全国交通事故死亡者数は前年比4人増となり、15年ぶりに増加した。特に近畿圏内では前年より80人増加し、深刻な状況」と指摘。事故の特徴として、死者全体で65歳以上の割合が5割を超えていることを説明した。また、軽井沢のバス事故に触れ、「安全対策は常に十分ではないということ

を肝に銘じ、経営者とドライバーが安全意識を持ち続けなければ意味がない」と述べた。

事業者の事故防止対策事例紹介では「永続する企業への布石、『安全教育サイクル』による無事故



継続への挑戦」をテーマに、越野運送の越野泰弘社長が講演した。

(中村優希)